

にじの見える橋

>>> TOSS 福井 村上睦

概要

中 1 光村『にじの見える橋』(杉みき子)の实践。気持ちの変化を問う発問で意見が真っ二つに分かれる。最後に要約指導を行い、全文要約もできた。(TOSS 福井推薦)

にじの見える橋 (1)

>>> TOSS 福井 村上睦

概要

作業を通して、少年の気持ちが最初と最後までで変化していることを理解させる。

(前時までに授業や宿題で音読を何度もさせている。)

少年の気持ちの変化を読み取る

教科書を開いて今から言う言葉を囲みなさい。20 ページ 6 行目の「考え事」。

この「考え事」の内容はどんなものですか。ノートに から まで番号をつけて、4 つ書きなさい。

テストの成績が悪かった。
母親が課外活動をやめろと言う。
親しかった友達と仲たがいをした。
好きなCDを買うこづかいが足りない。

教科書を開いて今から言う言葉を囲みなさい。

21 ページ 5 行目。「少年は小さく足踏みした」の「足踏み」。

24 ページ 10 行目。「友達が上ってくるのを足踏みしながら待った」の「足踏み」。

2 つの「足踏み」が出てきます。それぞれ、少年はどんな気持ちで「足踏み」しているのですか。最初の足踏みを A、最後の足踏みを B として、それぞれノートに書きなさい。

(A)

・いらいらしている

- ・もやもやした気持ち
- (B)
- ・うれしい気持ち
 - ・友達が来るのを楽しみにしている

同じ足踏みという行動ですが、少年の気持ちが最初と最後とで変化しているのが分かります。次の時間は、少年の気持ちがいつ変化したのかを考えます。

にじの見える橋 (2)

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

少年の気持ちが変化した場所を考える。意見が真っ二つに分かれるので、討論もできる。

少年の気持ちがガラリと変わったのはどこですか。

教科書に線を引きなさい。書けたら見せに来ます。

子どもたちの意見は、ほぼ次の3つに分かれる。

1. P 2 1 L 1 2 「思わず振り返って、子供たちがまっすぐに指さす北の空を見上げると、ああ、確かににじだ。」
2. P 2 1 L 1 6 「少年は、自分でも思いがけない衝動に駆られて、辺りを見回した。」
3. P 2 3 L 1 7 「少年はふと、初めて、自分のことを恵まれたものを感じた。」

最初の2つは、ほとんど同じ時間で起こっていることなので、教師の方でまとめて1つにする。

(A) P 2 1 L 1 6 「少年は、自分でも思いがけない衝動に駆られて、辺りを見回した。」

(B) P 2 3 L 1 7 「少年はふと、初めて、自分のことを恵まれたものを感じた。」

少年の気持ちがガラリと変わったのは、A、Bのどちらですか。

ノートに意見を書いて、理由も書きなさい。

全員が書けたところで指名なし発表。

(A 派)

- ・「衝動」という言葉があり、感情的に動いているから。
- ・Aの前はイライラしていたが、そのあとはイライラがなくなっているから。
- ・本能的に行動しているから。
- ・少年にとっても、自分でも思いがけないことだったから。

(B 派)

- ・「初めて自分のことを恵まれたものを感じた」とあるから。
- ・それまでは自分を責めていたのに、恵まれたものを感じているから。

- ・「初めて」とあるから、それまでは思っていなかったから。
- ・Aの「思いがけない衝動」というのは、少年の気持ちではないと思うから。

A派、B派とも、良い意見が出るたびに拍手が起きた。
途中、反対意見を言いたい生徒がいたが、全員発表するまで待たせた。
少し時間をオーバーして、全員発表させて終了した。

補足

今回は「全員発表」を目的としたため、途中、討論になりそうな展開だったが、討論にはしなかった。時間を多めにとれば、討論の練習もできるであろう。

にじの見える橋（3）

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

全文を20字以内で要約する。向山型要約指導をしたあとにやると、ほとんど同じ要約文になる。

向山型要約指導

『桃太郎』の話を使った向山型要約指導をおこなう。

全文要約

『桃太郎』と同じように、『にじの見える橋』を20字以内で要約しなさい。

一番大事なキーワードは「少年」です。あとのキーワードは自分で考えなさい。

書けたら持ってこさせ、評定する。

- ・残り2つのキーワードは「にじ」と「恵まれたもの」
- ・どちらか抜けていればマイナス2点。
- ・キーワードが3つとも入っていて「少年」で終わっていれば満点。
- ・日本語がおかしいものはマイナス1点～2点。
- ・「少年」で終わっていないものは5点満点で評定。
- ・字数オーバーは書き直し。

何人目かに満点が出る。

黙って「10点」をつけてやる。

満点が5～6名出たところで、満点の生徒に板書させる。

- ・にじを見て恵まれていると感じた少年。(18字)

板書された答えは、ほとんど同じになる。

このように、原則をきちんとふまえて要約すると、ほとんど同じ要約文ができるのです。

国語の勉強は答えがはっきりしない、正解がいろいろある、と思っている人もいるかもしれませんが、こんなふうなやり方を守って、原則通りにやれば、正解ははっきり決まるのです。